

2016年

携帯サイトへGo!→
携帯で教室便りが見られます



公文式本市場教室 火・木 3~7時 TEL 186-61-4936(上平方)

横割教室 月・水 3~7時 TEL 61-8891(福島方)

指導者: 新妻ゆき子 携帯090-2260-0671

Eメール:yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス:yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ http://www.yukiko-kumon.com

教室だより 5月号

ゴールデンウィーク

5月といえばゴールデンウィークですね。現在、ゴールデンウィークは4月29日から5月5日までの7日間をさしませんが、昭和60年(1985年)以前は、5月4日(現在の「みどりの日」)が祝日ではなかったため、休日は飛び飛びで、「飛び石連休」と言われていました。昭和60年から「祝日と祝日の間は休日とする」という規定ができたため、5月4日が休日となり、「飛び石連休」という言葉は今では聞かれなくなりました。

この期間をゴールデンウィークと呼ぶようになったのは、昭和26年(1951年)に、映画会社が正月や盆の期間と同じように映画の興行成績が良かった期間という意味で名付けたことに由来するそうです。

それが、他の業界にも広まり、一般的にも使われるようになったようです。ただ、現在でも一部の放送局や新聞などでは、「ゴールデンウィーク」が映画業界用語であり、特定業界の宣伝に結びついてしまうという理由で「大型連休」と表現しているところもあります。

「大型連休」期間中も、学習習慣定着のため、できるだけ毎日少しずつでも教材学習をしてくださいね。枚数や進度の調整も、お気軽にご相談ください。

公文式の創始者・公文 公(くもん とおる)先生の言葉より

“くり返し学習の基準”

「標準完成時間」の目指すもの

公文式は、必要に応じて同じ教材をくり返し学習(「復習」と呼んでいます)をしながら進んでいきます。一歩ずつ高いところに進むには、学力を定着させ、先へ進めるだけの力の余裕をつけてあげなければなりません。その余裕を生むための復習なのです。では、どういう状態なら先に進めて、どういう状態の場合には復習が必要なのでしょう。

一般に、一人ひとりの子どもの学力が定着したかどうかはわかりにくいものです。そのために、子どもに無理をさせたり、あるいはわかっているところをくり返し学習させたりしてムダをさせていることも少なくないのです。

公文式では、そのような無理やムダをさせないように、学力の定着度を測る基準を設けています。それが「標準完成時間」です。「標準完成時間」は、それぞれの段階の問題の内容と量から見て、これくらいの時間内で解き終えていれば、次に進んで安心できる力がついたといえる、という学力の定着度を保証する基準です。

2016年 5月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 影節の日	4 みどりの日	5 こどもの日	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

本市場教室日□

横割教室日△

新学年になって はじめての



☆ 進捗一覧表基準認定証 ☆

それぞれの目標に向かって一歩ずつ!!

◎6月末に、表の進捗に到達した入には、「進捗一覧表基準認定証」が発行されます。(次回は「9月末」進捗です)

月	1 1学期 進捗			2 2学期 進捗			3 3学期 進捗		
	算数・数学	英語	国語	算数・数学	英語	国語	算数・数学	英語	国語
幼少未満	5A 150	A 200	5A 150	2A 50	C 100	2A 50	2A 50	D 100	2A 50
幼少	4A 150	A 200	4A 150	2A 50	C 100	2A 50	A 50	D 100	A 100
幼中	2A 150	A 200	2A 150	A 50	C 100	A 100	B 50	D 100	B 100
幼長	2A 150	A 200	2A 150	B 50	C 100	B 100	C 50	D 100	C 100
小1	A 150	A 200	A 100	C 50	C 100	C 100	D 50	D 100	D 100
小2	B 150	B 150	B 100	D 50	D 50	D 100	E 50	E 50	E 100
小3	C 150	C 150	C 100	E 50	E 50	E 100	F 50	F 50	F 100
小4	D 150	D 150	D 100	F 50	F 50	F 100	G 50	G 100	G 100
小5	E 150	E 150	E 100	G 50	G 100	G 100	H 50	H 100	H 100
小6	F 150	F 150	F 100	H 50	H 100	H 100	I 50	I 100	I 100
中1	G 150	G 100	G 100	I 50	I 100	I 100	J 50	J 100	J 50
中2	H 150	H 100	H 100	J 50	J 100	J 50	K 50	K 100	K 50
中3	I 150	I 100	I 100	K 50	K 100	K 50	L 50	L 100	L 50
高1	K 100	J 100	J 200	-	-	-	-	-	-
高2	M 100	K 100	L 200	-	-	-	-	-	-

- ★ 数学G教材、国語G I教材へ進級すると中学課程進級賞キーホルダー、英語はG I教材へ進級するとG I教材進級賞キーホルダーがもらえます。
- ★ 小学生のうちから数学・英語・国語各教科J(英語はJ I)教材へ到達すると「KUMON Jフレンズ」の会員に登録されます。(登録される学習用品をプレゼント)

何のために公文式で学習しているのですか？

「いつまで、どこまで、公文式を学習すればいいんですか？」とおたずねを受けることがあります。

これは公文式の本質にせまるとても難しい問いかけです。

良い暮らしをしていくためには良い学校に行つて、良い就職をしなければならないと一般的に思われています。

また、そのためには勉強ができなければいけないと思われています。

良い暮らしつて、幸せな暮らしつてどんな暮らしなのでしょう？

実は、学習そのものが生きるということの実践であり目的です。

それを手段としてとらえるところからさまざまな問題が発生しています。

今まで多くの事例を見てきましたが、例外なく学習活動が円滑になると生命活動（生活）が円滑になってきます。

人間にとって「生きる」ということそのものが、学びの連続によって支えられているからだと思ひます。

高校、大学に進学するという目的で受験勉強をする。また、進路を決めそれを実現するために勉強する。

社会人になるには社会人に必要な勉強をする。親になるには親になるための勉強をする。

健康に過ごすためには、病気にならないための勉強をする。こう考えていくと人生これすべて勉強の上に成り立っているといつても過言ではありません。だから、記憶力の良い子どもの頃に勉強する力を身につけておればこそその世界が、そこにはあるのではないかと思ひます。

人間は、本能的にみれば動物です。動物的欲をコントロールできてこそ、人間といえます。

人間性を引き出すことそれが教育です。「公文式をいつまで学習するか」ではなく、「何のために公文式で学習をするか」だと思ひます。

そう考えると、子どもの頃に公文式で勉強が好きになることは、人生という単位で大きな意味を持ってきます。

「勉強が好きになる」このことが公文式で学習する目的であればこそ、結果として向上心という言葉があるのです。

慣れよう「できる」から「わかる」

難しかったところも慣れてくると簡単に出来るようになったという経験は誰にでもあるでしょう。

例えば自転車に乗れるようになるまでのことを考えてみましょう。

自転車に乗れない子どもに何十回乗り方の説明をしても、わずかな子どもを除いては乗れるようにはならないでしょう。幾度となく転倒して（時には怪我をしながら）少しずつバランスをとるコツを覚え、そしてペダルを踏める回数が増えて、誰かの手助けも必要なくなり、自力で乗れるようになったときの喜びは本当に嬉しいものです。

乗れるようになると最初はわからなかった説明も理解しやすくなり、だんだんうまくなっていきます。

勉強のやり方（数学や音楽、美術などの技能教科などは特に）も同じことが言えます。

「わかる」→「できる」のではなく「できる」→「わかる」のほうが知識、技能を自分のものにしやすいのです。

数学の学習においても、同じことを何回も何回も繰り返して数にも式にも慣れてくると、知らず知らずのうちに、数学が得意科目だと思えるようになります。

このように思える、良い意味での“錯覚”が大切であつて、「もしかしたら自分は頭がいいのでは」と“錯覚”することが頑張るエネルギーになり、また何かの機会に先生に誉められ、友だちに「あいつはすごい」と言われることがあれば、難しい問題にぶつかつてもなんとか解こうとするようになっていきます。

繰り返し繰り返し問題を解き、勝手に手が動くまでになり、公文式での学習進度が1学年先、2・3学年以上先に進んでいけば、頭の使い方を覚え「頭のいい子」になる可能性が高まるのです。

まず「できる」ことを大切にしましょう。

保護者の皆様へ ★ 5月無料体験学習のご案内 ★平素は公文式学習にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。さて、公文式教室では、下記の通り「5月無料体験学習」を実施いたします。公文式学習の大きな目的は、子どもたちが自分から進んで学習する力と「高い基礎学力」を身につけること。「自分でできた！」の体験は子どもたちに大きな自信を与えてくれます。新しい教科にチャレンジして、得意な教科を増やしてください。まだ入会いただいていないご兄弟・姉妹の方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加をお待ちしております。また、お知り合いの方へ公文式学習をご紹介いただければ幸いです。一緒に学習する仲間は子どもたちにとって大きな励みとなります。
学習期間 5月18日（水）～ 5月31日（火）期間中、2週間で計4回、公文式学習を体験していただけます。

お休みのときは、電話でも携帯メールでも結構ですので連絡をお願いします。5月分の会費引き落としは4月28日（木）です。よろしくお願ひいたします。

（注）休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。

お迎え電話を教室からする子には必ず電話代10円を持たせてください。